

令和4年3月1日

士幌町長職務代理者
士幌町総務企画課長 亀野 倫生 殿

士幌町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 東村 達夫

副主任監査員 貝守 良光

副主任監査員 小澤はる奈

環 境 監 査 報 告 書

LAS-E実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

令和3年12月28日（火）～令和4年1月14日（金）

2. 監査対象

本庁舎：7 実行部門、外部施設：8 実行部門、教育施設：5 実行部門

計 20 実行部門

および環境政策推進本部長、副本部長、事務局

3. LAS-E 監査内容

【重点項目監査】

- 1 役場全体および各課のマネジメント
- 2 役場全体および各課のアクション
 - ① 仕事の改善による省エネ・省資源
 - ② 地域環境保全・本来業務での取り組み（SDGs への認識）
 - ③ 独自の取り組み
- 3 ガバナンス（コミュニケーション・協働）

参考：LAS-E共通実施項目

第1 ステージ

1-1～1-30（1-12、1-23、1-30 を除く）計 27 項目相当

第2 ステージ

2-1～2-6、2-8～2-10、2-12、2-14～2-17、2-21、2-22、2-25～2-30

計 21 項目相当

4. 総合所見

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現場監査及び集合監査は実施せず、書面監査を実施しました。まず全職員を対象に個人アンケートを実施し、その後、実行責任者が監査チェックリストに回答を記入、さらに各実行部門で目視セルフチェックを実施し、その書面をもって監査チームメンバーが評価する形式で監査を実施しました。

その結果と評価は以下の通りです。

取り組み状況については、運用の手引きに記載された取り組みが概ね着実に実践されていました。しかし、個人アンケートの結果とこれに対する実行責任者の評価に関して、要改善（△）とした部署が4つありました（※）。個人アンケートにおいて認識や理解が不足している項目があることが明らかになったものの、そのことに対する具体的な対応策が明示されていなかったことが評価理由です。

現場での確認ができなかったこともあり、優良取組（◎）として選定された事例はありませんでした。しかし、優良取組まではいかなくとも、他の部署でも展開できる優れた工夫はいくつか確認できました。例えば、会議資料のため紙を多く使用することを意識し、レイアウト調整によりページ数を削減している（農業委員会）、タブレットの導入で教材や宿題のペーパーレス化を図る（中央中学校）などの紙使用量削減の取組や、エネルギー使用量の多い施設は利用状況により部屋ごとにタイマーセットすることで暖房の利用をコントロールする（教育課（総合研修センター））といった工夫は、他の部署・施設でも類似の取組を展開できるのではないのでしょうか。優れた工夫は実行部門ごとの所見に記載していますので、監査報告書全体を確認し、参考にできる取組を見つけてみてください。

以下、項目別に詳細を述べます。

1. 役場全体及び各課のマネジメント

今年度の回答状況では、新型コロナへの対応のためエネルギー使用量が増加したという記述が目立ちました。空調と換気を併用しなければならないなど、エネルギー使用量削減の観点からは厳しい状況が続いています。平成29年度を基準とする目標値との対比も難しいところですが、すでにコロナ禍の影響を受けていた令和2年度との対比も含めて使用状況を把握し、感染対策とエネルギー使用の効率化を両立する方策を検討していただきたいと思います。

今回は、監査に先立ち個人アンケートを実施し、部署・施設ごとに所属職員の理解度・認識を明らかにしました。この結果を受けて情報伝達の方法を再考したり、事務局に対して情報共有の要望を出したりと、何らかのアクション（改善策）を取った部署も散見されました。事務局はこうした意見・要望を受け止め、来年度の研修や周知に活かしてください。

個人アンケートの結果も、エネルギー使用量等の調査結果も、「確認すること」が目的ではなく、結果を踏まえて改善策・対応策を検討する材料とするべきものです。各実行責任者は、所管する部署・施設の取組状況を確認し、目標達成に向けた対応方針を明らかにし、所属職員を指導するまでが自らの責務であることを改めて認識していただきたいと思います。

2. 役場全体及び各課のアクション

各実行部門で実施した目視セルフチェックの回答状況からは、運用の手引きに沿った環境配慮行動が概ね正しく実行されていることが確認できました。セルフチェックシートは、監査時期に限らず通年で利用することができます。適切な環境配慮行動が継続するよう、定期的に取り組む状況を自己点検することをお勧めしたいと思います。

3. ガバナンス

環境に関する情報公開、参加・協働の促進については、運用の手引きに沿った水準で実施されてきました。コロナ禍により中止になった行事も多くあった一方で、例年とは違った形で~~例年どおり~~の実施ができたもの（7000人のまつりで実行委員により町内ごみ拾いを実施：総務企画課）、オンラインを活用した新たな取組（農産物や加工品のオンライン販売を検討：土幌高校）もあり、回復と新展開の兆しが見えました。

今回の監査でも、SDGsに関する取組目標について各実行部門に問いかけました（質問項目の分類はマネジメント部門）。過去の監査での回答と比べ、各部署・施設の所管業務と関連付けた回答が増えてきたと感じます。児童・生徒や住民の気づきや行動を促すような取組も多く挙げられました。取組内容そのものというより、優れた目標設定の考え方を参考にして、本来業務を充実させていくことでSDGsの取組が町全体に広がっていくようなイメージを共有していただきたいと思います。

以上

※監査員15名のうち、3分の1にあたる5名以上が△としたもの

<改善が必要>

チェック項目	質問	監査部署
3 (M)	個人アンケートの実施結果について、感想や所属職員への指導・伝達などにおける今後の課題などをご記入ください。	保健福祉課 特別養護老人ホーム 国保病院 子ども課

5. 監査実施項目評価結果一覧

設問No.	項目	取組内容	実施率 (◎/○)	評価 結果
M マ ネ ジ メ ン ト	(本)	協議と指示	首長による定期的協議、適切な指示	100.0% ○
	(事)	事務局の状況	環境に関する取組の状況と変更点 マネジメント上の変更点・改良点	100.0% ○
	(事)	庁内のコミュニケーション	環境マネージャー会議の開催 推進本部会議の開催、町長指示への対応 基本方針の周知・指導	100.0% ○
	(事)	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の実施、理解	100.0% ○
	2	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の実施、理解	85.0% ○
	3	目標と実施状況	環境影響の把握 課の業務に応じた環境活動の実施	100.0% ○
	11	地域環境保全・本来業務での取組	SDGsへの認識	100.0% ○
A ア ク シ ョ ン	(事)	施設・設備の改善による省エネ・省資源	公共施設における再生可能エネルギー等の導入 施設の新設・更新時における環境配慮設備の検討	100.0% ○
	(事)	地域環境保全事業・予算	施策・事業の成果、予算等の把握 環境関連事業の評価	100.0% ○
	(事)	仕事の改善による省エネ・省資源	省エネ・省資源、節水・排水負荷削減、紙の節減、 廃棄物削減、リサイクル、グリーン購入、公用車仕様の 負荷削減、通勤時の負荷削減、施設常駐者・出入り 業者への配慮要請ほか	100.0% ○
	5, 6	環境基本計画に関わる取組	第2期環境基本計画に関わる取組(水環境保全、森 林・農地の保全、生物多様性、廃棄物や有害物質の 排出削減、地域資源の活用、産業育成)	100.0% ○
	7	環境教育・ESD	環境学習・ESDの実践内容、取組方針 保護者や地域住民との関わり	100.0% ○
	4	独自の取組	独自の環境配慮の工夫、実践	100.0% ○
G ガ バ ナ ン ス	(事)	住民等とのコミュニケーション	行政の環境保全に対する施策・取組の公表や公開 公共事業に関わる環境負荷の情報公開 環境に関する意見・苦情への対応	100.0% ○
	8	住民・事業者との協働	住民・事業者主体の環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○
	9	住民・事業者との協働	住民・事業者の提案による環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○
	10	住民・事業者との協働	ユースの提案による環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○

(本) : 推進本部に対する監査項目

(事) : 事務局に対する監査項目

実施率：監査項目の評価が◎または○の個数の割合が80%以上なら○、60%以上80%未満なら△、60%未満なら×と評価

6. 部署ごとの所見

監査対象	所見
推進本部長 (町長)	・ ゼロカーボン宣言など、理事者が積極的に環境活動に取り組まれていることが窺えます。 ・ SDGs への取り組みや住民への周知も行われていることが素晴らしいと感じました。
推進副本部長 (副町長)	・ 町の環境問題についてしっかりと把握し、さらに国内外の動きにも対応したゼロカーボン宣言などの具体的な目標があり、適切な指示を出していることが分かりました。
総務企画課	・ 職員の認識を高める取組みを検討しており、SDGs に対する意識が感じられます。 ・ 個人アンケートの結果で認識不足の項目があることに對し、個別対応を含む改善策が挙げられている点が良いと思います。
町民課	・ 来庁者に対しても環境配慮に協力してもらっており、町の取組を発信することにもなっています。 ・ SDGs に関して「残業を削減する」との目標を立て、職員間の業務量調整などで実現しようとしている点は、業務の質向上に繋がることも期待できると思います。
建設課	・ エネルギーについて、しっかりと原因を把握し、改善しようとする姿勢がみられます。 ・ SDGs に関する取組については、所管業務との関連が深い「公営住宅のバリアフリー化・断熱化」や「水道設備の耐震化」、あるいは工事における環境影響の軽減や、環境配慮資材の活用を進めていくことについて目標を設定することを検討してはいかがでしょうか。
産業振興課	・ 職場内の取り組みだけではなく、家庭でも食品ロスの削減を呼びかけようとする運動は素晴らしいと思いました。この情報共有の取組が、施策事業にも活用できるようになることを期待します。
保健福祉課	・ 新型コロナワクチン業務で発生する廃棄物等の分別に注意し、徹底していることが分かりました。 ・ エネルギー使用量の目標値の共有が不十分であったという個人アンケートの結果に對し、どのように情報共有を図るのか、改善策を検討していただきたいと思います。 ・ SDGs に関する取組としては、所管業務との関連が深い「しほろ健康マイレージビンゴ事業」について目標設定をすることを検討されてはいかがでしょうか。
出納室	・ 付箋紙の数回再利用などの資源削減に対する、積極的な姿勢が窺えます。 ・ SDGs に関する取組については、例えば有給休暇の取得率などを目標として設定することもできるのではないのでしょうか。残業なし、有給取得を実現するためにどのようなことが必要か、職員間で具体策を検討していただくと良いと思います。
議会事務局	・ マイ SDGs 宣言について、対象を職員のみならず、議員にも声がけをし、普及しようという姿勢が窺えます。

	町全体で SDGs 取組を推進していくためには、議員の理解も不可欠です。LAS-E 事務局（総務企画課）が発信する SDGs 関連の情報を議員に共有するなどの観点から、取組の目標を設定することを検討されてはいかがでしょうか。
農業委員会	紙、電気の使用量の削減に併せて、マイボトルの持参の推奨で、消耗品削減を主とした取り組みをしています。 - 紙の使用量が多いことを踏まえて、レイアウトを調整するなど使用量削減の工夫をされていることが良いと思います。 - SDGs に関する取組で、1 人当たりの取組回数を目標設定している点は良いと思います。次の段階として、町内の農業者に SDGs について（特に、農業との関連が深いゴール 1・2・12・15 など）理解を広めていくため、情報発信や意見交換の機会を作ることを検討されてはいかがでしょうか。
子ども課	- 廃材を自由制作の材料として使用しているところは素晴らしいと思います。 - へき地保育所への給食提供や作物を育てるといった活動が、子ども達の食育に繋がると思います。 - SDGs に関する取組については、給食の食べ残しを減らすことが挙げられています。給食センターでは食育に取り組む方針が示されていますので、ぜひ連携して、給食を通じた SDGs の学びを検討していただきたいと思います。
教育課	- SDGs 宣言のなかで、対象となる部屋や数値を具体的に定めて取り組もうとする姿勢は素晴らしいと思います。 - しかし、宣言内容と目標が整合していない印象です。多くの人に知ってもらうことを目標とするならば、教育課から発信する様々な媒体・会議等において話題にしていくなどの動きがあると良いのではないのでしょうか。
消防課	- 自炊者増によってガス使用量が増となったことは、ひいては使い捨て容器使用削減につながるため、むしろ歓迎すべき事象だと思います。 - SDGs に関する取組については、住民の防災力向上を目指した内容が回答されており、目標設定の考え方を全庁的に共有したいと思います。
国保病院	- 患者対応の中で、エネルギー使用量等を削減するのは厳しいと思いますが、その中でもポスター掲示の工夫などで取り組む姿勢がみられました。 - 多くの現場職員が LAS-E について知らなかったという個人アンケートの結果を踏まえて、どの取組に重点を置くべきかを再検討していただく必要があると感じます。現場職員には「LAS-E という仕組みがある」ことを理解してもらうのではなく、エネルギー使用量等の目標達成のため「どのような行動が求められるか」を知り、動いていただくことがより重要だと思います。そのために、誰がいつどのように実施状況を把握するのが良いか、管理者側の体制を独自に構築していただくことも有効と考えられます。
発達センター	教材を再利用した資源を使用している、水道使用時に意識醸成を図るなど、工夫が見られました。

	SDGs に関する取組については、研修を通じたスキルアップが回答されていました。職員が学ぶことで住民サービスの向上に繋がることが強く意識されており、目標設定の考え方は全庁的に共有したいものです。
特養ホーム	- 高齢者施設として、入所者の健康に配慮しながらも、地産地消や食品ロスの低減などに努めていることが分かりました。 - LAS-E や SDGs について情報伝達が難しいと感じていらっしゃるということです。LAS-E 事務局（総務企画課）からの情報発信や研修資料を回覧し、それに対する感想や気づきを各自が書き込むなど、一方通行にならない情報伝達の方法を工夫していただくと良いと思います。 - SDGs に関する取組としては、高齢者福祉（ゴール3）や職員の働き方（ゴール8）を中心に取組目標を設定すると、業務との関連をより意識しやすくなり、理解も深まると思います。
士幌小学校	- 児童と職員が一丸となって取り組んでいるのは素晴らしいと思います。課題整理がなされており、それらを考慮した取り組みに期待します。 - 教育活動にどうしても必要なエネルギー・資源の所要量がある中で、削減することだけが主目的になると取組の意義を見出しにくくなります。SDGs とも関連付けて児童に伝えていく中で、児童の意識や行動の変化に重点を置いていただくのが良いのではないかと思います。
中士幌小学校	- 学校農園を利用し環境教育と食育を子どもたちに対して積極的に行っていることが分かりました。 - エネルギー使用量の増加についても、要因をしっかりと捉えています。 - SDGs に関する取組については、児童の気づき・思考を目標に、取組回数を明確に設定されている点が良いと思います。
上居辺小学校	- 学校のみならず地域とともに環境に関する取組を行っていることが分かりました。 - 図書スペースを活用した SDGs の啓発はよい取組であると思います。どのような書籍を設置したかなど、学校間で情報共有があると、さらに充実した取組になるのではないのでしょうか。
中央中学校	- タブレットの導入によるペーパーレス化の取組は素晴らしいと思います。ぜひ推進していただきたいです。 - SDGs に関する取組については、生徒の気づきや行動に繋がる働きかけも重要だと思います。授業の中で士幌町の現状や取組について取り上げるなども検討されてはいかがでしょうか。
高校	- 情報共有を電子化し、ペーパーレス化している点は、全庁的に参考としたい取組です。 - SDGs に関する取組については、各教科等の学習の中で士幌町や世界の現状を伝え、生徒の学びに繋げることを意識して目標を検討されてはいかがでしょうか。
給食センター	- 米袋の再利用など環境に配慮した取組ができています。 - SDGs に関する取組については、食育のことが挙げられています。士幌町は食を核として様々な学びができる環境にあります。各学校や農業関係とも連携しながら、充実した食育が展開されることを期待します。
事務局	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できる事業が限られている中、可能な範囲で環境活動に取り組まれています。

	他課の回答にて理解、認識が不足しているとの記述が多く見られました。理解不足の項目にどのような傾向があるのかを把握し、各課での理解向上が進むような研修や情報伝達の手法を検討してください。
--	--